

IV.業務に関する事項

2018年度の事業の概況

事業の経過および成果等

当期のわが国経済は、豪雨、地震、台風などの自然災害が相次いで発生したことによる生産・物流の滞りがあり、また輸出・生産の一部に弱さも見られたものの、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しなどから、緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社は、SOMPO ホールディングスグループにおける損害保険事業の一翼として、お客さまに「心地よい」と感じていただける高品質な商品・サービスを提供し続けることにより、お客さまに選んでいただける保険会社を目指しています。その中で、主力商品であるダイレクト自動車保険「おとなの自動車保険」の保有契約件数は、2011年3月に発売後8年で80万件に達することとなり、多くのお客さまからご支持をいただいております。

○損益の概況

当社の業績は、以下のとおりとなりました。

損益状況に関して、収益の面で、保険引受収益は、正味収入保険料が41,265百万円と対前期3,252百万円増収（増収率8.6%）したことなどにより、41,308百万円と前期に対し3,243百万円上回りました。資産運用収益は、有価証券売却益の計上がなかったため、前期に比べ48百万円減少し、41百万円となりました。

一方、支出面では、保険引受費用は、正味支払保険金が26,711百万円と対前期3,608百万円増加し、33,385百万円と対前期3,233百万円の増加となりました。資産運用費用は、その他運用費用が前期に比べわずかに減少し、3百万円となりました。また、営業費及び一般管理費は、12,748百万円と広告費の抑制により、前期に比べ627百万円減少しました。

以上の結果、当期の経常損益は、4,815百万円の損失（前期は5,441百万円の損失）となりました。特別損失として7百万円、法人税及び住民税15百万円を差し引いた結果、当期の純損失は4,838百万円（前期は5,461百万円の損失）となりました。

財務内容の面では、ダイレクト損害保険事業への投下資本確保と事業基盤の強化を目的とし、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を引受先とする第三者割当増資2,499百万円を実施しました。年度末の純資産は6,108百万円（対前期末2,180百万円の減少）、自己資本比率は11.3%と対前期末4.1ポイント低下しました。またソルベンシー・マージン比率は341.7%

と前期末に対し122.2ポイント低下しました。

なお、保険引受の概況については、以下のとおりです。

正味損害率は、73.3%と前期に比べて4.3ポイント上昇しました。

正味事業費率は、32.5%と前期に比べて4.9ポイント低下しました

○保険種目毎の概況

主力の自動車保険につきましては、正味収入保険料が37,028百万円、前期に比べて3,534百万円、10.6%の増収となり、正味支払保険金が23,985百万円と前期に比べて3,296百万円増加しました。その結果、正味損害率は73.6%と、前期に比べて3.6ポイント上昇しました。

火災保険につきましては、正味収入保険料が448百万円、前期に比べて38百万円、7.9%の減収となりました。正味損害率は175.5%と、前期に比べて129.3ポイント上昇しました。

傷害保険につきましては、正味収入保険料が2,130百万円と210百万円の減収となりました。正味損害率は68.8%と、前期に比べて5.2ポイント低下しました。

自動車損害賠償責任保険につきましては、正味収入保険料が407百万円、前期に比べて6.1%の減少となりました。正味損害率は103.2%と、前期に比べ8.1ポイント上昇しました。

その他の保険（海上保険を含む）につきましては、正味収入保険料が、1,249百万円と、前期に比べて6百万円の減収となりました。正味損害率は26.1%と、前期に比べて4.9ポイント低下しました。

○対処すべき課題

当社は、顧客ロイヤルティ戦略を実現し、「デジタル×リアル」の取組みにより損害サービスやコールセンターにおける顧客対応力を強化することで、他社との差別化を図り、トップライン拡大の加速に努めます。また、3つの革新（デジタル革新、業務プロセス革新、働き方革新）により、事業効率の向上および個の育成とチーム作りを柱とする「人づくり」に努めます。さらに、次年度に予定しているそんぼ24損害保険株式会社との合併を見据えた事業基盤整備などに取組むことで、ダイレクト損害保険会社として持続的な成長基盤づくりに努めます。

最近 5 事業年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

項目 \ 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
正味収入保険料 (対前期増減率)	22,359 (18.0%)	27,439 (22.7%)	33,223 (21.1%)	38,012 (14.4%)	41,265 (8.6%)
経常収益 (対前期増減率)	22,783 (15.0%)	27,818 (22.1%)	33,379 (20.0%)	38,160 (14.3%)	41,363 (8.4%)
経常利益または経常損失(△) (対前期増減率)	△ 7,388 (—)	△ 6,509 (—)	△ 5,931 (—)	△ 5,441 (—)	△ 4,815 (—)
当期純利益または当期純損失(△) (対前期増減率)	△ 7,406 (—)	△ 6,529 (—)	△ 5,948 (—)	△ 5,461 (—)	△ 4,838 (—)
資本金 (発行済株式総数)	23,610 (1,955 千株)	26,610 (2,887 千株)	28,760 (4,030 千株)	31,010 (5,858 千株)	32,260 (7,299 千株)
純資産額	11,519	10,995	9,281	8,289	6,108
総資産額	44,706	49,272	51,655	53,807	54,269
自己資本比率	25.8%	22.3%	18.0%	15.4%	11.3%
積立勘定資産	829	465	202	115	27
責任準備金残高	22,980	24,786	26,553	28,353	29,401
貸付金残高	2	1	0	0	0
有価証券残高	35,725	40,139	16,878	18,462	18,070
ソルベンシー・マージン比率	893.6%	725.8%	562.0%	463.9%	341.7%
配当性向	—	—	—	—	—
従業員数	327 名	361 名	417 名	495 名	679 名

(注) ソルベンシー・マージン比率については、それぞれの年度末において適用される保険業法施行規則第 86 条および第 87 条ならびに平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。したがって、年度間の数値の単純な比較は出来ません。

主要な業務の状況を示す指標等

1. 元受正味保険料（含む積立保険料）および従業員一人当たり保険料

(単位：百万円、%)

種 目	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火 災		1,591	4.5	△ 3.5	1,380	3.5	△ 13.3	1,175	2.8	△ 14.8
傷 害		3,660	10.4	△ 6.9	3,296	8.3	△ 10.0	2,946	6.9	△ 10.6
自 動 車		28,599	81.5	25.7	33,741	85.0	18.0	37,346	87.4	10.7
自動車損害賠償責任		△ 0	△ 0.0	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他		1,253	3.6	5.4	1,257	3.2	0.3	1,250	2.9	△ 0.5
合 計		35,105	100.0	18.9	39,675	100.0	13.0	42,720	100.0	7.7
従業員一人当たり元受正味保険料(含む積立保険料)		84		2.9	80		△ 4.8	62		△ 21.5

(注) 1. 元受正味保険料(含む積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返れい金および元受その他返れい金を控除したものをいいます(積立型保険の積立保険料部分を含みます)。

2. 従業員一人当たり元受正味保険料(含む積立保険料) = 元受正味保険料(含む積立保険料) ÷ 従業員数

2. 正味収入保険料

(単位：百万円、%)

種 目	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火 災		620	1.9	△ 10.3	487	1.3	△ 21.5	448	1.1	△ 7.9
傷 害		2,529	7.6	△ 2.0	2,340	6.2	△ 7.5	2,130	5.2	△ 9.0
自 動 車		28,377	85.4	25.8	33,494	88.1	18.0	37,028	89.7	10.6
自動車損害賠償責任		441	1.3	6.9	434	1.1	△ 1.8	407	1.0	△ 6.1
そ の 他		1,253	3.8	5.4	1,256	3.3	0.2	1,249	3.0	△ 0.5
合 計		33,223	100.0	21.1	38,012	100.0	14.4	41,265	100.0	8.6

(注) 正味収入保険料とは、元受および受再契約の収入保険料から出再契約の再保険料を控除したものをいいます。

3. 受再正味保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災		3	2	2
傷 害		113	101	90
自 動 車		7	8	9
自動車損害賠償責任		441	434	407
そ の 他		1	0	△ 0
合 計		567	546	509

(注) 受再正味保険料とは、受再保険料から受再解約返れい金および受再その他返れい金を控除したものをいいます。

4. 支払再保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災		974	895	729
傷 害		1,202	1,040	902
自 動 車		228	256	327
自動車損害賠償責任		△ 0	—	—
そ の 他		1	1	1
合 計		2,406	2,192	1,961

(注) 支払再保険料とは、再保険料から再保険返れい金およびその他再保険収入を控除したものをいいます。

5. 解約返れい金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	72	71	76
傷 害	7	40	2
自 動 車	250	319	382
自動車損害賠償責任	11	12	12
そ の 他	0	8	0
合 計	342	453	475

(注) 解約返れい金とは、元受解約返れい金、受再解約返れい金および積立解約返れい金の合計額をいいます。

6. 保険引受利益

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	△ 233	△ 136	△ 64
傷 害	100	35	198
自 動 車	△ 6,065	△ 5,682	△ 5,471
自動車損害賠償責任	—	—	—
そ の 他	259	360	546
合 計	△ 5,938	△ 5,422	△ 4,791

(単位：百万円)

項 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
保 険 引 受 収 益	33,299	38,065	41,308
保 険 引 受 費 用	27,515	30,151	33,385
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	11,743	13,356	12,728
そ の 他 収 支	21	21	15
保 険 引 受 利 益	△ 5,938	△ 5,422	△ 4,791

(注) 1. 営業費及び一般管理費は、損益計算書における営業費及び一般管理費のうち保険引受に係る金額です。

2. その他収支は、自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などです。

7. 正味支払保険金および正味損害率

(単位：百万円、%)

種 目 \ 年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	金額	構成比	正 味 損害率	金額	構成比	正 味 損害率	金額	構成比	正 味 損害率
火 災	471	2.4	84.7	189	0.8	46.2	742	2.8	175.5
傷 害	1,521	7.8	70.3	1,510	6.5	74.0	1,315	4.9	68.8
自 動 車	16,891	86.5	67.6	20,689	89.6	70.0	23,985	89.8	73.6
自動車損害賠償責任	408	2.1	95.2	403	1.7	95.1	407	1.5	103.2
そ の 他	239	1.2	27.3	309	1.3	31.0	260	1.0	26.1
合 計	19,532	100.0	67.0	23,102	100.0	69.0	26,711	100.0	73.3

(注) 1. 正味支払保険金とは、元受および受再契約の支払保険金から出再契約による回収再保険金を控除したものをいいます。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

8. 元受正味保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	806	337	1,072
傷 害	1,934	1,843	1,539
自 動 車	17,119	20,784	24,501
自動車損害賠償責任	32	△ 0	30
そ の 他	238	307	260
合 計	20,130	23,273	27,404

(注) 元受正味保険金とは、元受保険金から元受保険金戻入を控除したものをいいます。

9. 受再正味保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	27	0	13
傷 害	45	36	34
自 動 車	2	3	3
自動車損害賠償責任	408	403	407
そ の 他	2	2	2
合 計	487	446	463

(注) 受再正味保険金とは、受再保険金から受再保険金戻入を控除したものをいいます。

10. 回収再保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	362	148	344
傷 害	458	370	258
自 動 車	230	98	519
自動車損害賠償責任	32	△ 0	30
そ の 他	1	0	3
合 計	1,086	617	1,156

(注) 回収再保険金とは、再保険金から再保険金割戻を控除したものをいいます。

保険契約に関する指標等

1. 保険契約に関する指標等－契約者配当金

積立保険（貯蓄型保険）では保険期間が終了し満期を迎えたご契約に対して満期返れい金をお支払いするとともに、保険期間中の運用利回りが予定利率を上回った場合には、所定の計算により契約者配当金をお支払いいたしております。

満期を迎えられた契約者にお支払いした契約者配当金は以下のとおりです。

(満期返れい金 100 万円の場合)

満期月 および保険期間	払込方法	一時払契約	年払契約	半年払契約	月払契約	団体扱契約
	2018年3月	5年	0円	0円	0円	0円
10年		0円	0円	0円	0円	0円
2019年3月	5年	0円	0円	0円	0円	0円
	10年	0円	0円	0円	0円	0円

2. 正味事業費率

(単位：百万円、%)

種 目	2016年度	2017年度	2018年度
保険引受に係る事業費	12,601	14,198	13,411
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	11,743	13,356	12,728
(諸手数料及び集金費)	857	841	683
正味事業費率	37.9	37.4	32.5

(注) 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

3. 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

(単位：%)

種 目	年 度	2016年度			2017年度			2018年度		
		正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
火 災		84.7	116.7	201.4	46.2	133.8	180.0	175.5	114.1	289.6
傷 害		70.3	29.5	99.8	74.0	30.8	104.8	68.8	21.1	89.9
自 動 車		67.6	37.5	105.1	70.0	36.9	106.9	73.6	32.4	106.0
自動車損害賠償責任		95.2	2.3	97.5	95.1	1.4	96.5	103.2	0.8	104.0
そ の 他		27.3	38.6	65.9	31.0	36.1	67.1	26.1	35.3	61.4
合 計		67.0	37.9	104.9	69.0	37.4	106.4	73.3	32.5	105.8

(注) 1. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

2. 正味事業費率 = (保険引受に係る営業費及び一般管理費 + 諸手数料及び集金費) ÷ 正味収入保険料

3. 合算率 = 正味損害率 + 正味事業費率

4. 出再控除前の発生損害率、事業費率およびその合算率

(単位：%)

種 目	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率
火 災		49.5	72.8	122.3	39.2	72.0	111.2	70.1	44.9	115.0
傷 害		58.8	25.5	84.3	55.8	26.4	82.2	50.1	19.9	70.0
自 動 車		81.0	40.2	121.2	77.6	38.8	116.4	81.9	33.6	115.5
そ の 他		39.1	38.3	77.4	24.7	35.9	60.6	17.2	35.3	52.5
合 計		75.9	39.4	115.3	72.9	38.4	111.3	77.2	33.0	110.2

- (注) 1. 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。
 2. 発生損害率 = (出再控除前の発生損害額 + 損害調査費) ÷ 出再控除前の既経過保険料
 3. 事業費率 = (支払諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 出再控除前の既経過保険料
 4. 合算率 = 発生損害率 + 事業費率
 5. 出再控除前の発生損害額 = 支払保険金 + 出再控除前の支払備金積増額
 6. 出再控除前の既経過保険料 = 収入保険料 - 出再控除前の未経過保険料積増額
 7. 第三分野につきましては、販売量が極めて少なく有意な情報が得られないため、傷害に含めて表記しています。

5. 国内契約・海外契約別の収入保険料の割合

区 分	年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
国 内 契 約		100.0%	100.0%	100.0%
海 外 契 約		— %	— %	— %

- (注) 上表は、収入保険料 (元受正味保険料 (除く収入積立保険料) と受再正味保険料の合計) について国内契約および海外契約の割合を記載しています。

6. 出再を行った再保険者の数と出再保険料の上位 5 社の割合

	出再先保険会社の数	出再保険料のうち上位 5 社の出再先に集中している割合 (%)
2017 年度	4	99.99
2018 年度	4	100.00

- (注) 1. 出再先保険会社の数は、特約再保険を 1,000 万円以上出再している再保険者 (プール出再を含む) を対象にしています。
 2. 第三分野保険 (保険業法施行規則第 71 条に基づき保険料積立金を積み立てない保険契約) の該当はありません。

7. 出再保険料の格付ごとの割合

格付区分	A 以上	BBB 以上	その他 (格付なし・不明・BB以下)	合計
2017 年度	100.0%	—	—	100.0%
2018 年度	100.0%	—	—	100.0%

(注) 1. 特約再保険を 1,000 万円以上出再している再保険会社を対象としています。ただし、再保険プールを含んでいません。

2. 格付区分は、以下の方法により区分しています。

① S&P 社と Moody's の格付を使用し、両社の格付が異なる場合は、低い格付を使用しています。

② これら 2 社の格付がない場合は A.M.Best の格付を使用しています。

格付機関別の A 格、BBB 格、BB 格の定義は以下のとおりです。

	A 以上	BBB 以上	BB 以下
S&P	A- 以上	BBB- 以上	BB+ 以下
Moody's	A3 以上	Baa3 以上	Ba1 以下
A.M.Best	A- 以上	B+ 以上	B 以下

③ 各年度末時点の格付情報を使用しています。

3. 第三分野保険（保険業法施行規則第 71 条に基づき保険料積立金を積み立てない保険契約）の該当はありません。

8. 未収再保険金の推移

(単位：百万円)

		2016 年度	2017 年度	2018 年度
1	年度開始時の未収再保険金	87	101	72
2	当該年度に回収できる事由が発生した額	691	591	781
3	当該年度回収等	677	619	384
4	年度末の未収再保険金 (1+2-3)	101	72	470

(注1) 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いています。

(注2) 第三分野保険（保険業法施行規則第 71 条に基づき保険料積立金を積み立てない保険契約）の該当はありません。

経理に関する指標等

1. 保険契約準備金

(1) 支払備金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
火 災	44	165	186
傷 害	1,151	1,026	831
自 動 車	10,734	12,001	13,591
自動車損害賠償責任	168	169	160
そ の 他	345	268	158
合 計	12,444	13,630	14,929

(2) 責任準備金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
火 災	9,263	8,888	8,081
傷 害	951	839	961
自 動 車	13,611	15,707	17,365
自動車損害賠償責任	1,571	1,633	1,663
そ の 他	1,155	1,284	1,330
合 計	26,553	28,353	29,401

2. 責任準備金積立水準

区 分		2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
積立方式	標準責任準備金 対象契約	—	—	—
	標準責任準備金 対象外契約	平準純保険料式 または全期チルメル式	平準純保険料式 または全期チルメル式	平準純保険料式 または全期チルメル式
積 立 率		100.0%	100.0%	100.0%

(注) 1. 積立方式および積立率は、保険業法第3条第5項第1号に掲げる保険に係る保険契約および保険業法第3条第5項第1号に掲げる保険を主たる保険としている保険契約を除いています。

2. 保険料積立金および積立保険に係る払戻積立金以外について積立方式という概念がないため、積立方式は保険料積立金および積立保険に係る払戻積立金について記載しています。

3. 積立率 = (実際に積立している普通責任準備金 + 払戻積立金) ÷ (下記 (1) ~ (3) の合計額)

(1) 標準責任準備金対象契約に係る平成8年大蔵省告示第48号に定める方式により計算した保険料積立金および払戻積立金 (保険業法施行規則第68条第2項に定める保険契約に限る)

(2) 標準責任準備金対象外契約に係る平準純保険料式により計算した平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る保険料積立金、保険業法施行規則第68条第2項に定める保険契約以外の保険契約で平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る払戻積立金ならびに平成13年7月1日前に保険期間が開始する保険契約に係る普通責任準備金および払戻積立金

(3) 平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る未経過保険料

3. 引当金明細表

(単位：百万円)

区 分	2016年度 未残高	2017年度 増加額	2017年度減少額		2017年度 未残高	2018年度 増加額	2018年度減少額		2018年度 未残高	摘要	
			目的使用	その他			目的使用	その他			
貸倒引当金	一般貸倒引当金	—	—	—	—	—	—	—	—		
	個別貸倒引当金	0	31	0	(※)0	31	45	—	(※)31	45	※洗替等による取崩
	計	0	31	0	0	31	45	—	31	45	
役員退職慰労引当金	20	4	—	—	25	8	9	—	24		
賞与引当金	264	273	264	—	273	329	273	—	329		
役員賞与引当金	27	22	27	—	22	24	22	—	24		
価格変動準備金	40	4	—	—	44	4	—	—	49		

4. 貸付金償却の額

該当ありません。

5. 損害率の上昇に対する経常利益の変動

損害率の上昇シナリオ	地震保険と自動車損害賠償責任保険を除くすべての保険種目について、均等に発生損害率が1%上昇すると仮定します。	
計 算 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○増加する発生損害額 = 既経過保険料 × 1% ○増加する発生損害額のうち、正味支払保険金、支払備金積増額の内訳については、当年度発生事故におけるそれぞれの割合によりあん分しています。 ○増加する異常危険準備金取崩額 = 正味支払保険金の増加を考慮した取崩額 - 決算時取崩額 ○経常利益の減少額 = 増加する発生損害額 - 増加する異常危険準備金取崩額 	
経常利益の減少額	2017年度	362百万円 (注) 異常危険準備金残高の取崩額 0百万円
	2018年度	372百万円 (注) 異常危険準備金残高の取崩額 28百万円

6. 事業費 (含む損害調査費)

(単位：百万円)

区 分	2016年度	2017年度	2018年度
人 件 費	3,096	3,506	4,347
物 件 費	11,159	12,708	11,642
税 金	237	267	292
火災予防拠出金および 交通事故予防拠出金	0	0	0
保険契約者保護機構 に対する負担金	—	—	—
諸手数料及び集金費	857	841	683
合 計	15,350	17,325	16,965

(注) 金額は損益計算書における損害調査費、営業費及び一般管理費、諸手数料及び集金費の合計額です。

7. 有価証券売却益明細表

(単位：百万円)

年度 区分	2016年度	2017年度	2018年度
国債等	—	—	—
株式	—	—	—
外国証券	3	37	—
その他の有価証券	—	—	—
合計	3	37	—

8. 有価証券売却損明細表

(単位：百万円)

年度 区分	2016年度	2017年度	2018年度
国債等	—	—	—
株式	—	—	—
外国証券	—	—	—
その他の有価証券	—	—	—
合計	—	—	—

9. 有価証券評価損明細表

(単位：百万円)

年度 区分	2016年度	2017年度	2018年度
国債等	—	—	—
株式	—	—	—
外国証券	—	—	—
その他の有価証券	—	—	—
合計	—	—	—

10. 減価償却費明細表

(単位：百万円、%)

資産の種類	取得原価	2018年度 償却額	2018年度末 残高	償却累計額	償却累計率
有形固定資産					
建物	226	10	80	145	64.3
リース資産	453	69	326	126	28.0
その他の有形固定資産	80	8	47	32	41.2
有形固定資産計	759	87	454	305	40.2
無形固定資産					
ソフトウェア	5,463	1,195	2,103		
無形固定資産計	5,463	1,195	2,103		

11. 固定資産処分益

該当ありません。

12. 固定資産処分損

(単位：百万円)

区 分 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
建 物	—	0	0
リ ー ス 資 産	—	0	—
その他の有形固定資産	0	0	—
合 計	0	0	0

資産運用に関する指標

【セゾン自動車火災保険】

1. 現金および預貯金の推移

(単位：百万円)

区 分	年 度	2016 年度末			2017 年度末			2018 年度末		
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比			
現 金		0		0		0				
預 貯 金		26,846		27,170		26,063				
郵便振替・郵便貯金		121		123		179				
当 座 預 金		26,599		26,913		25,851				
普 通 預 金		125		133		32				
通 知 預 金		—		—		—				
定 期 預 金		—		—		—				
外 貨 預 金		—		—		—				
合 計		26,846		27,171		26,063				

2. 運用資産および総資産の推移

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
預 貯 金		26,846	52.0	27,170	50.5	26,063	48.0
コ ー ル ロ ー ン		—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定		—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金		—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権		—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券		—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託		—	—	—	—	—	—
有 価 証 券		16,878	32.7	18,462	34.3	18,070	33.3
う ち 株 式		31	0.1	35	0.1	29	0.1
貸 付 金		0	0.0	0	0.0	0	0.0
土 地 ・ 建 物		52	0.1	87	0.2	80	0.1
運 用 資 産		43,778	84.8	45,720	85.0	44,215	81.5
総 資 産		51,655	100.0	53,807	100.0	54,269	100.0

3. 利息および配当金収入の額および運用資産利回り(インカム利回り)の推移 (単位：百万円、%)

区 分	2016 年度末		2017 年度		2018 年度	
	収入金額	利回り	収入金額	利回り	収入金額	利回り
預 貯 金	—	—	—	—	—	—
コ ー ル ロ ー ン	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券	93	0.48	83	0.48	75	0.42
う ち 株 式	—	—	0	4.58	0	6.87
貸 付 金	0	1.81	0	1.55	0	1.54
土 地 ・ 建 物	—	—	—	—	—	—
小 計	93	0.24	83	0.20	75	0.17
そ の 他	0	—	0	—	0	—
合 計	93	—	83	—	75	—

(注) 運用資産利回り(インカム利回り)

資産運用に係る成果をインカム収入(利息および配当金収入)の観点から示す指標です。

分子を[利息および配当金収入]、分母を[取得原価又は償却原価による平均残高]として算出しています。

4. 資産運用利回り(実現利回り) (単位：百万円、%)

区 分	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り
預 貯 金	—	20,288	—	—	25,020	—	—	25,430	—
コ ー ル ロ ー ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券	104	19,365	0.54	125	17,384	0.72	81	17,795	0.46
公 社 債	75	17,496	0.43	62	16,179	0.39	46	15,102	0.31
株 式	—	13	—	0	13	4.58	0	13	6.87
外 国 証 券	3	10	36.19	37	5	662.24	6	334	1.87
その他の証券	25	1,845	1.38	25	1,186	2.14	27	2,345	1.19
貸 付 金	0	0	1.81	0	0	1.55	0	0	1.54
土 地 ・ 建 物	—	51	—	—	84	—	—	87	—
金 融 派 生 商 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	△3	—	—	△3	—	—	△3	—	—
合 計	101	39,705	0.25	122	42,490	0.29	77	43,314	0.18

(注) 資産運用利回り(実現利回り)

資産運用に係る成果を当年度の期間損益への寄与の観点から示す指標です。

分子を[資産運用収益]+[積立保険料等運用益]-[資産運用費用]、分母を[取得原価又は償却原価による平均残高]として算出しています。

5. (参考) 時価総合利回り

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り
預 貯 金		—	20,288	—	—	25,020	—	—	25,430	—
コ ー ル ロ ー ン		—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定		—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金		—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権		—	—	—	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券		—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託		—	—	—	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券		14	20,012	0.07	82	17,942	0.46	300	18,309	1.64
公 社 債		△ 28	17,709	△ 0.16	3	16,289	0.02	144	15,153	0.95
株 式		11	19	58.63	5	31	17.77	△ 6	35	△ 16.79
外 国 証 券		3	11	26.66	37	5	641.86	49	334	14.77
その他の証券		28	2,271	1.26	36	1,616	2.27	113	2,785	4.06
貸 付 金		0	0	1.81	0	0	1.55	0	0	1.54
土 地 ・ 建 物		—	51	—	—	84	—	—	87	—
金 融 派 生 商 品		—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他		△ 3	—	—	△ 3	—	—	△ 3	—	—
合 計		11	40,352	0.03	79	43,047	0.18	297	43,828	0.68

(注) 実現利回りにその他有価証券の評価差額等を加味したもので時価ベースでの運用効率を示す指標です。

分子を [資産運用収益] + [積立保険料等運用益] - [資産運用費用] + [当期末評価差額] - [前期末評価差額]、分母を [取得原価又は償却原価による平均残高] + [その他有価証券に係る前期末評価差額] + [金銭の信託および売買目的有価証券に係る前期末評価損益] で算出しています (評価差額は税効果控除前の金額による)。

6. 海外投融資残高および構成比および利回り

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
外 貨 建 建	公 社 債	—	—	—	—	—	—
	株 式	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	10	100.0	1	100.0	1	0.1
	外 貨 建 資 産 計	10	100.0	1	100.0	1	0.1
円 貨 建 建	非 居 住 者 貸 付	—	—	—	—	—	—
	公 社 債 (円 建 外 債)	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	1,043	99.9
	円 貨 建 資 産 計	—	—	—	—	1,043	99.9
合 計		10	100.0	1	100.0	1,044	100.0
海 外 投 資 利 回 り							
運用資産利回り(インカム利回り)		0.00		0.00		1.87	
資産運用利回り(実現利回り)		36.19		662.24		1.87	
(参考)時価総合利回り		26.66		641.86		14.77	

7. 商品有価証券の平均残高及び売買高

該当ありません。

8. 保有有価証券の種類別の残高および合計に対する構成比

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
国 債		8,819	52.3	6,481	35.1	2,535	14.0
地 方 債		4,494	26.6	7,541	40.8	10,991	60.8
社 債		2,737	16.2	1,610	8.7	601	3.3
株 式		31	0.2	35	0.2	29	0.2
外 国 証 券		10	0.1	1	0.0	1,044	5.8
そ の 他 の 証 券		786	4.7	2,791	15.1	2,869	15.9
合 計		16,878	100.0	18,462	100.0	18,070	100.0

9. 保有有価証券利回り

(単位：%)

区 分	年 度	2016 年度末			2017 年度末			2018 年度末		
		運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り	運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り	運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り
公 社 債		0.43	0.43	△ 0.16	0.39	0.39	0.02	0.31	0.31	0.95
株 式		0.00	0.00	58.63	4.58	4.58	17.77	6.87	6.87	△ 16.79
外 国 証 券		0.00	36.19	26.66	0.00	662.24	641.86	1.87	1.87	14.77
そ の 他 の 証 券		1.02	1.38	1.26	1.69	2.14	2.27	0.93	1.19	4.06
合 計		0.48	0.54	0.07	0.48	0.72	0.46	0.42	0.46	1.64

(注) 利回りの計算方法は 3、4、5 の注記のとおりです。

10. 有価証券の種類別の残存期間別残高

(単位：百万円)

区 分	残存期間	1 年以下	1 年超 3 年以下	3 年超 5 年以下	5 年超 7 年以下	7 年超 10 年以下	10 年超	合 計
		2017 年度末	国 債	4,843	1,637	—	—	—
	地 方 債	605	307	—	—	6,628	—	7,541
	社 債	1,004	606	—	—	—	—	1,610
	株 式	—	—	—	—	—	35	35
	外 国 証 券	1	—	—	—	—	—	1
	その他の有価証券	—	13	2,006	—	—	771	2,791
	合 計	6,455	2,564	2,006	—	6,628	807	18,462
2018 年度末	国 債	1,209	407	—	—	918	—	2,535
	地 方 債	201	101	—	1,050	9,638	—	10,991
	社 債	601	—	—	—	—	—	601
	株 式	—	—	—	—	—	29	29
	外 国 証 券	1	—	—	—	—	1,043	1,044
	その他の有価証券	1	—	2,023	—	—	844	2,869
	合 計	2,014	508	2,023	1,050	10,556	1,916	18,070

(注) 10 年超には期間の定めのないものを含んでいます。

11. 業種別保有株式の額

(単位：千株、百万円、%)

区 分	2016 年度末			2017 年度末			2018 年度末		
	株 数	金 額	構成比	株 数	金 額	構成比	株 数	金 額	構成比
輸 送 用 機 器	—	—	—	—	—	—	—	—	—
商 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 融 保 険 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情 報 ・ 通 信 業	20	31	100.0	20	35	100.0	20	29	100.0
陸 運 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
サ ー ビ ス 業	3	0	0.0	3	0	0.0	—	—	—
合 計	23	31	100.0	23	35	100.0	20	29	100.0

(注) 1. 業種別区分は、証券取引所の業種分類に準じています。

2. その他金融業は金融保険業として記載しています。

12. 貸付金の残存期間別の残高

(単位：百万円)

区 分	残存期間	1 年以下	1 年超 3 年以下	3 年超 5 年以下	5 年超 7 年以下	7 年超 10 年以下	10 年超	合 計
		2017 年度末	貸 付 金	0	—	—	—	—
	変 動 金 利	—	—	—	—	—	—	—
	固 定 金 利	0	—	—	—	—	—	0
	うち国内企業向け	—	—	—	—	—	—	—
	変 動 金 利	—	—	—	—	—	—	—
	固 定 金 利	—	—	—	—	—	—	—
2018 年度末	貸 付 金	0	—	—	—	—	—	0
	変 動 金 利	—	—	—	—	—	—	—
	固 定 金 利	0	—	—	—	—	—	0
	うち国内企業向け	—	—	—	—	—	—	—
	変 動 金 利	—	—	—	—	—	—	—
	固 定 金 利	—	—	—	—	—	—	—

13. 担保別貸付金残高

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
担 保 貸 付		—	—	—	—	—	—
有 価 証 券 担 保 貸 付		—	—	—	—	—	—
不 動 産 ・ 動 産 ・ 財 団 担 保 貸 付		—	—	—	—	—	—
指 名 債 権 担 保 貸 付		—	—	—	—	—	—
保 証 貸 付		—	—	—	—	—	—
信 用 貸 付		—	—	—	—	—	—
そ の 他		—	—	—	—	—	—
一 般 貸 付 計		—	—	—	—	—	—
約 款 貸 付		0	100.0	0	100.0	0	100.0
合 計		0	100.0	0	100.0	0	100.0
(うち劣後特約付貸付)		—	—	—	—	—	—

14. 用途別の貸付金残高および構成比

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
運 転 資 金		0	100.0	0	100.0	0	100.0
設 備 資 金		—	—	—	—	—	—
合 計		0	100.0	0	100.0	0	100.0

15. 業種別の貸付残高および貸付残高の合計に対する割合

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
農 林 ・ 水 産 業		—	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業		—	—	—	—	—	—
建 設 業		—	—	—	—	—	—
製 造 業		—	—	—	—	—	—
卸 売 業 ・ 小 売 業		—	—	—	—	—	—
金 融 業 ・ 保 険 業		—	—	—	—	—	—
不動産業・物品賃貸業		—	—	—	—	—	—
情 報 通 信 業		—	—	—	—	—	—
運 輸 業 ・ 郵 便 業		—	—	—	—	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業		—	—	—	—	—	—
サ ー ビ ス 業 等		—	—	—	—	—	—
そ の 他 (うち個人住宅・消費者ローン)		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
小 計		—	—	—	—	—	—
公 共 団 体		—	—	—	—	—	—
公 社 ・ 公 団		—	—	—	—	—	—
約 款 貸 付		0	100.0	0	100.0	0	100.0
合 計		0	100.0	0	100.0	0	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じています。

16. 規模別の貸付金残高および貸付残高の合計に対する割合

該当ありません。

17. 有形固定資産明細表

(単位：百万円)

区 分 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
土 地	—	—	—
営 業 用	—	—	—
賃 貸 用	—	—	—
建 物	52	87	80
営 業 用	52	87	80
賃 貸 用	—	—	—
建 設 仮 勘 定	—	—	—
営 業 用	—	—	—
賃 貸 用	—	—	—
合 計	52	87	80
営 業 用	52	87	80
賃 貸 用	—	—	—
リ ー ス 資 産	162	185	326
その他の有形固定資産	8	38	47
有形固定資産合計	224	310	454

18. 長期性資産

(単位：百万円)

区 分 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
長 期 性 資 産	204	116	27

(注) 長期性資産は、積立保険の払戻積立金・契約者配当準備金等の合計額を表示しています。

19. 特別勘定に関する指標

該当ありません。

責任準備金残高の内訳

(単位：百万円)

種 目	内 訳	普通責任 準備金	異常危険 準備金	払戻積立金	契約者配当 準備金	危険準備金Ⅱ	合計
2017 年度末	火 災	7,559	1,320	—	—	9	8,888
	傷 害	575	144	115	1	2	839
	自 動 車	13,558	2,148	—	—	0	15,707
	自動車損害賠償責任	1,633	—	—	—	—	1,633
	そ の 他	591	692	—	—	0	1,284
	合 計	23,918	4,306	115	1	11	28,353
2018 年度末	火 災	6,901	1,170	—	—	9	8,081
	傷 害	794	136	27	0	2	961
	自 動 車	14,988	2,376	—	—	0	17,365
	自動車損害賠償責任	1,663	—	—	—	—	1,663
	そ の 他	613	717	—	—	0	1,330
	合 計	24,961	4,400	27	0	11	29,401

期首時点支払備金（見積り額）の当期末状況（ラン・オフ・リザルト）

(単位：百万円)

会計年度	期首支払備金	前期以前発生事故に係る 当期支払保険金	前期以前発生事故に係る 当期末支払備金	当期把握 見積り差額
2014年度	7,246	4,506	2,680	60
2015年度	7,993	4,874	3,380	△ 261
2016年度	10,488	6,353	4,412	△ 276
2017年度	12,698	7,297	4,835	565
2018年度	13,696	8,531	5,439	△ 274

(注) 1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。

3. 当期把握見積り差額 = 期首支払備金 - (前期以前発生事故に係る当期支払保険金 + 前期以前発生事故に係る当期末支払備金)

事故発生からの期間経過に伴う最終損害見積り額の推移表

●傷害

(単位：百万円)

事故発生年度		2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
		金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計 保険金 + 支払 備金	事故発生年度末	1,887			1,787			1,844			1,674			1,388		
	1年後	1,861	0.99	△26	1,820	1.02	33	1,823	0.99	△21	1,666	1.00	△8			
	2年後	1,880	1.01	18	1,831	1.01	10	1,821	1.00	△2						
	3年後	1,883	1.00	2	1,824	1.00	△6									
	4年後	1,878	1.00	△4												
最終損害見積り額		1,878			1,824			1,821			1,666			1,388		
累計保険金		1,868			1,804			1,765			1,511			696		
支払備金		9			20			55			154			692		

●自動車

(単位：百万円)

事故発生年度		2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
		金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計 保険金 + 支払 備金	事故発生年度末	10,796			14,993			18,711			21,943			24,991		
	1年後	11,272	1.04	475	15,428	1.03	434	19,010	1.02	298	22,676	1.03	732			
	2年後	11,508	1.02	236	15,268	0.99	△159	19,263	1.01	252						
	3年後	11,496	1.00	△11	15,286	1.00	17									
	4年後	11,575	1.01	79												
最終損害見積り額		11,575			15,286			19,263			22,676			24,991		
累計保険金		11,240			14,560			17,703			19,768			17,077		
支払備金		335			726			1,559			2,908			7,913		

●賠償責任

(単位：百万円)

事故発生年度		2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
		金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計 保険金 + 支払 備金	事故発生年度末	55			67			167			112			90		
	1年後	63	1.14	7	87	1.29	19	207	1.24	39	104	0.92	△8			
	2年後	98	1.56	35	79	0.91	△7	142	0.69	△64						
	3年後	79	0.81	△18	80	1.00	0									
	4年後	77	0.96	△2												
最終損害見積り額		77			80			142			104			90		
累計保険金		69			75			98			79			46		
支払備金		7			5			44			24			43		

(注) 1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 「比率」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した倍率を記載しています。

3. 「変動」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した額を記載しています。

2018年度の事業の概況（旧そんぽ24損害保険）

事業の経過および成果等

当期のわが国経済は、豪雨、地震、台風などの自然災害が相次いで発生したことによる生産・物流の滞りがあり、また、輸出・生産の一部に弱さも見られたものの、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しなどから、緩やかな回復基調が続きました。

当社におきましては、2018年3月に公表しました、2019年7月を目途とするセゾン自動車火災保険株式会社との合併に向けて、「合併公表による事業環境の変化や合併準備を視野に入れた更なる効率化の推進とお客さま対応品質の維持」および「合併新会社へのお客さまのスムーズな移行のための万全を期した準備」を2018年度の経営基本方針に掲げ、これらの達成に向けた種々の施策を展開し、着実な実行・管理に取り組んでまいりました。

そのような取組みの一環として、お客さまとの接点強化を目的として、「個人賠償責任特約販売開始1周年39<サンキュー>キャンペーン」を2018年7月末まで実施するとともに、お客さまのスムーズな移行を目的として、当社直扱いのお客さまの契約更改時に、当社の見積りとともにセゾン自動車火災保険株式会社の見積りも同封する「先行移行」を2018年10月満期のご契約から開始しました。

このような状況下で、当年度の業績は次のとおりとなりました。

損益の状況につき、経常収益については、保険引受収益が12,065百万円、資産運用収益が△11百万円、その他経常収益が36百万円となった結果、12,090百万円となり、前年度に比べて1,791百万円の減少となりました。一方、経常費用については、保険引受費用が7,788百万円、営業費及び一般管理費が2,922百万円、その他経常費用が0百万円となった結果、10,711百万円となり、前年度に比べて883百万円の減少となりました。この結果、経常利益は1,378百万円となり、前年度と比べて907百万円の減少となりました。また、特別損失726百万円を計上したほか、法人税及び住民税ならびに法人税等調整額を加減した結果、当期純利益は378百万円となり、前年度と比べて1,608百万円の減少となりました。

保険引受の概況は次のとおりであります。

保険引受収益のうち正味収入保険料については、8,804百万円となり、前年度に比べて28.9%の減収となりました。一方、保険引受費用のうち正味支払保険金が6,395百万円となった結果、正味損害率については83.3%となり、前年度と比べて20.5ポイントの上昇となりました。また、保険引受に係る営業費及び一般管理費が2,920百万円となった結果、正味事業費率については38.3%となり、前年度と比べて7.5ポイントの上昇となりました。

資産の運用につきましては、国債を中心とした安全な運用を基本方針としながらも、金利情勢を踏まえて、満期償還を迎えた国債の資金は国債への再投資は見合わせ、預金（保護対象口座）として保有することとした結果、利息及び配当金収入は△0百万円となりました。

今後のわが国経済は、海外経済の不確実性や消費税増税に伴う影響が懸念されるものの、堅調な設備投資や雇用情勢などを受けて緩やかな回復が続くものと見込まれます。損害保険業界におきましては、人口減少や少子高齢化などの構造的な社会課題に加え、自然災害の大規模化・常態化、モバイルの普及やデジタル技術の進化に伴うお客さまの嗜好・行動の変化など、当社を取り巻く環境は非連続かつ大きく変化していくことが予想されます。

当社としましては、こうした環境変化の中において、合併公表時に「新会社が目指す姿」として掲げた、「高品質な商品・サービスをご提供し、SOMPOホールディングスグループのダイレクト損害保険会社として、お客さまに『心地よい』と感じていただけるよう全社一丸となり取り組み、お客さまに選ばれる保険会社」を目指し、引き続きお客さまのスムーズな移行のための万全を期した準備に取り組んでまいります。

○損益の仕組み

(単位：百万円)

保険引受収益	12,065			保険引受費用	7,788
正味収入保険料	8,804	保険引受に係る 営業費及び一般管理費	2,920	正味支払保険金	6,395
積立保険料等運用益	11			損害調査費	938
支払備金戻入額	449	その他収支	—	諸手数料及び集金費	454
責任準備金戻入額	2,800				
		保険引受利益	1,356		
				資産運用費用	—
資産運用収益	△11				
利息及び配当金収入	△0			営業費及び一般管理費	2,922
積立保険料等運用益振替	△11			その他経常費用	0
				経常費用	10,711
その他経常収益	36	経常利益	1,378	特別損失	726
				法人税及び住民税 法人税等調整額	73 219
経常収益	12,090			当期純利益	378
特別利益	20				

(注) その他収支は、自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などです。

最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

項目 \ 年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
正味収入保険料 (対前期増減率)	14,163 (2.6%)	13,725 (△3.1%)	13,312 (△3.0%)	12,386 (△7.0%)	8,804 (△28.9%)
経常収益 (対前期増減率)	14,193 (2.6%)	14,006 (△1.3%)	14,149 (1.0%)	13,881 (△1.9%)	12,090 (△12.9%)
経常利益または経常損失(△) (対前期増減率)	△945 (—)	970 (—)	1,608 (65.7%)	2,285 (42.1%)	1,378 (△39.7%)
当期純利益または当期純損失(△) (対前期増減率)	△958 (—)	858 (—)	1,715 (99.8%)	1,986 (15.8%)	378 (△81.0%)
資本金 (発行済株式総数)	19,000 (380千株)	19,000 (380千株)	19,000 (380千株)	19,000 (380千株)	19,000 (380千株)
純資産額	5,015	5,890	7,586	9,562	9,940
総資産額	22,123	22,748	23,696	24,100	20,878
自己資本比率	22.7%	25.9%	32.0%	39.7%	47.6%
積立勘定資産	—	—	—	—	—
責任準備金残高	8,501	8,356	8,045	7,475	4,674
貸付金残高	—	—	—	—	—
有価証券残高	15,727	16,204	7,127	2,001	—
ソルベンシー・マージン比率	523.9%	640.6%	833.0%	1,081.6%	1,238.7%
配当性向	—	—	—	—	—
従業員数	225名	244名	225名	210名	191名

(注) ソルベンシー・マージン比率については、それぞれの年度末において適用される保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。したがって、年度間の数値の単純な比較は出来ません。

主要な業務の状況を示す指標等

1. 元受正味保険料および従業員一人当たり保険料

(単位：百万円、%)

種 目	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火 災	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自 動 車	13,132	100.0	△ 3.3	12,215	100.0	△ 7.0	8,638	100.0	△ 29.3	
自動車損害賠償責任	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計	13,132	100.0	△ 3.3	12,215	100.0	△ 7.0	8,638	100.0	△ 29.3	
従業員一人当たり 元受正味保険料	58		4.9	58		△ 0.3	45		△ 22.2	

(注) 1. 元受正味保険料とは、元受保険料から元受解約返れい金および元受その他返れい金を控除したものをいいます。

2. 従業員一人当たり元受正味保険料 = 元受正味保険料 ÷ 従業員数

2. 正味収入保険料

(単位：百万円、%)

種 目	年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火 災	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自 動 車	13,078	98.2	△ 3.0	12,160	98.2	△ 7.0	8,596	97.6	△ 29.3	
自動車損害賠償責任	234	1.8	△ 2.2	225	1.8	△ 3.7	207	2.4	△ 7.9	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計	13,312	100.0	△ 3.0	12,386	100.0	△ 7.0	8,804	100.0	△ 28.9	

(注) 正味収入保険料とは、元受および受再契約の収入保険料から出再契約の再保険料を控除したものをいいます。

3. 受再正味保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—
自 動 車	—	—	—	—
自動車損害賠償責任	234	225	207	
そ の 他	—	—	—	
合 計	234	225	207	

(注) 受再正味保険料とは、受再保険料から受再解約返れい金および受再その他返れい金を控除したものをいいます。

4. 支払再保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—
自 動 車	54	54	41	
自動車損害賠償責任	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	
合 計	54	54	41	

(注) 支払再保険料とは、再保険料から再保険返れい金およびその他再保険収入を控除したものをいいます。

5. 解約返れい金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	197	194	190
自動車損害賠償責任	6	6	6
そ の 他	—	—	—
合 計	203	201	197

(注) 解約返れい金とは、元受解約返れい金および受再解約返れい金の合計額をいいます。

6. 保険引受利益

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	1,591	2,297	1,356
自動車損害賠償責任	—	—	—
そ の 他	—	—	—
合 計	1,591	2,297	1,356

(単位：百万円)

項 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
保 険 引 受 収 益	14,128	13,890	12,065
保 険 引 受 費 用	9,124	8,507	7,788
営業費及び一般管理費	3,413	3,084	2,920
そ の 他 収 支	0	△ 0	—
保 険 引 受 利 益	1,591	2,297	1,356

(注) 1. 営業費及び一般管理費は、損益計算書における営業費及び一般管理費のうち保険引受に係る金額です。

2. その他収支は、自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などです。

7. 正味支払保険金および正味損害率

(単位：百万円、%)

種 目 \ 年 度	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	金額	構成比	正 味 損害率	金額	構成比	正 味 損害率	金額	構成比	正 味 損害率
火 災	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自 動 車	7,021	96.6	61.6	6,544	96.6	62.0	6,173	96.5	82.7
自動車損害賠償責任	246	3.4	105.4	231	3.4	102.6	221	3.5	106.6
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	7,268	100.0	62.4	6,775	100.0	62.8	6,395	100.0	83.3

(注) 1. 正味支払保険金とは、元受および受再契約の支払保険金から出再契約による回収再保険金を控除したものをいいます。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

8. 元受正味保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	7,021	6,573	6,173
自動車損害賠償責任	—	—	—
そ の 他	—	—	—
合 計	7,021	6,573	6,173

(注) 元受正味保険金とは、元受保険金から元受保険金戻入を控除したものをいいます。

9. 受再正味保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	—	—	—
自動車損害賠償責任	246	231	221
そ の 他	—	—	—
合 計	246	231	221

(注) 受再正味保険金とは、受再保険金から受再保険金戻入を控除したものをいいます。

10. 回収再保険金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	—	29	—
自動車損害賠償責任	—	—	—
そ の 他	—	—	—
合 計	—	29	—

(注) 回収再保険金とは、再保険金から再保険金割戻を控除したものをいいます。

保険契約に関する指標等

1. 保険契約に関する指標等－契約者配当金

該当ありません。

2. 正味事業費率

(単位：百万円、%)

種 目	2016年度	2017年度	2018年度
保険引受に係る事業費	4,230	3,820	3,375
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	3,413	3,084	2,920
(諸手数料及び集金費)	817	735	454
正味事業費率	31.8	30.8	38.3

(注) 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

3. 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

(単位：%)

種 目	年 度	2016年度			2017年度			2018年度		
		正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
火 災		—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷 害		—	—	—	—	—	—	—	—	—
自 動 車		61.6	32.3	94.0	62.0	31.4	93.4	82.7	39.3	122.0
自動車損害賠償責任		105.4	—	105.4	102.6	—	102.6	106.6	—	106.6
そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		62.4	31.8	94.2	62.8	30.8	93.6	83.3	38.3	121.6

(注) 1. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

2. 正味事業費率 = (保険引受に係る営業費及び一般管理費 + 諸手数料及び集金費) ÷ 正味収入保険料

3. 合算率 = 正味損害率 + 正味事業費率

4. 出再控除前の発生損害率、事業費率およびその合算率

(単位：%)

種 目	年 度	2016年度			2017年度			2018年度		
		発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率
火 災		—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷 害		—	—	—	—	—	—	—	—	—
自 動 車		56.2	31.6	87.8	51.5	30.0	81.5	60.0	30.0	90.1
そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		56.2	31.6	87.8	51.5	30.0	81.5	60.0	30.0	90.1

(注) 1. 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。

2. 発生損害率 = (出再控除前の発生損害額 + 損害調査費) ÷ 出再控除前の既経過保険料

3. 事業費率 = (支払諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 出再控除前の既経過保険料

4. 合算率 = 発生損害率 + 事業費率

5. 出再控除前の発生損害額 = 支払保険金 + 出再控除前の支払備金積増額

6. 出再控除前の既経過保険料 = 収入保険料 - 出再控除前の未経過保険料積増額

7. 第三分野につきましては、取扱いがないため内訳の記載を省略しています。

5. 国内契約・海外契約別の収入保険料の割合

区分 \ 年度	2016年度	2017年度	2018年度
国内契約	100.0%	100.0%	100.0%
海外契約	— %	— %	— %

(注) 上表は、収入保険料(元受正味保険料と受再正味保険料の合計) について国内契約および海外契約の割合を記載しています。

6. 出再を行った再保険者の数と出再保険料の上位5社の割合

	出再先保険会社の数	出再保険料のうち上位5社の出再先に集中している割合 (%)
2017年度	1	100.00
2018年度	1	100.00

(注) 1. 出再先保険会社の数は、特約再保険を1,000万円以上出再している再保険者(プール出再を含む)を対象としています。
2. 第三分野保険(保険業法施行規則第71条に基づき保険料積立金を積み立てない保険契約)の該当はありません。

7. 出再保険料の格付ごとの割合

格付区分	A以上	BBB以上	その他 (格付なし・不明・BB以下)	合計
2017年度	100.0%	—	—	100.0%
2018年度	100.0%	—	—	100.0%

(注) 1. 特約再保険を1,000万円以上出再している再保険会社を対象としています。ただし、再保険プールを含んでいません。
2. 格付区分は、スタンダード & プアーズ(S&P)社の格付を使用しています。
3. 第三分野保険については、取扱いがないため記載を省略しています。

8. 未収再保険金の推移

(単位：百万円)

		2016年度	2017年度	2018年度
1	年度開始時の未収再保険金	—	—	9
2	当該年度に回収できる事由が発生した額	—	29	78
3	当該年度回収等	—	19	9
4	年度末の未収再保険金(1+2-3)	—	9	78

(注) 1. 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いています。
2. 第三分野保険(保険業法施行規則第71条に基づき保険料積立金を積み立てない保険契約)の該当はありません。

経理に関する指標等

1. 保険契約準備金

(1) 支払備金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	5,295	4,377	3,934
自動車損害賠償責任	86	80	74
そ の 他	—	—	—
合 計	5,382	4,458	4,009

(2) 責任準備金

(単位：百万円)

種 目 \ 年 度	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
火 災	—	—	—
傷 害	—	—	—
自 動 車	7,688	7,108	4,304
自動車損害賠償責任	356	366	370
そ の 他	—	—	—
合 計	8,045	7,475	4,674

2. 責任準備金積立水準

当社にて取り扱う保険契約は、保険業法第3条第5項第1号に掲げる保険に係る保険契約に該当するため、積立方式および積立率の記載をしていません。

3. 引当金明細表

(単位：百万円)

区 分	2016年度 未残高	2017年度 増加額	2017年度減少額		2017年度 未残高	2018年度 増加額	2018年度減少額		2018年度 未残高	摘要
			目的使用	その他			目的使用	その他		
貸倒引当金	一般貸倒引当金	—	—	—	—	—	—	—	—	
	個別貸倒引当金	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員退職慰労引当金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
賞与引当金	97	98	97	—	98	74	98	—	74	
役員賞与引当金	5	4	5	—	4	4	4	—	4	
価格変動準備金	41	—	—	21	20	—	—	20	—	

4. 貸付金償却の額

該当ありません。

5. 損害率の上昇に対する経常利益の変動

損害率の上昇シナリオ	地震保険と自動車損害賠償責任保険を除くすべての保険種目について、均等に発生損害率が1%上昇すると仮定します。	
計 算 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○増加する発生損害額 = 既経過保険料 × 1% ○増加する発生損害額のうち、正味支払保険金、支払備金積増額の内訳については、当年度発生事故におけるそれぞれの割合によりあん分しています。 ○増加する異常危険準備金取崩額 = 正味支払保険金の増加を考慮した取崩額 - 決算時取崩額 ○経常利益の減少額 = 増加する発生損害額 - 増加する異常危険準備金取崩額 	
経常利益の減少額	2017年度	45百万円 (注) 異常危険準備金残高の取崩額 81百万円
	2018年度	111百万円 (注) 異常危険準備金の繰入・取崩はありません。

6. 事業費 (含む損害調査費)

(単位：百万円)

区 分	2016年度	2017年度	2018年度
人 件 費	1,717	1,639	1,523
物 件 費	2,592	2,308	2,231
税 金	145	136	106
火災予防拠出金および 交通事故予防拠出金	—	—	—
保険契約者保護機構 に対する負担金	—	—	—
諸手数料及び集金費	817	735	454
合 計	5,272	4,819	4,316

(注) 金額は損益計算書における損害調査費、営業費及び一般管理費、諸手数料及び集金費の合計額です。

7. 有価証券売却益明細表

該当ありません。

8. 有価証券売却損明細表

該当ありません。

9. 有価証券評価損明細表

該当ありません。

10. 減価償却費明細表

(単位：百万円、%)

資産の種類	取得原価	2018年度 償却額	2018年度末 残高	償却累計額	償却累計率
有形固定資産					
建物	142	2	24	117	82.6
リース資産	—	—	—	—	—
その他の有形固定資産	719	72	123	595	82.8
有形固定資産計	861	74	148	713	82.8
無形固定資産					
ソフトウェア	—	—	—		
無形固定資産計	—	—	—		

11. 固定資産処分益

該当ありません。

12. 固定資産処分損

(単位：百万円)

年度 区分	2016年度	2017年度	2018年度
建物	—	—	—
リース資産	—	—	—
その他の有形固定資産	0	1	1
合計	0	1	1

資産運用に関する指標

1. 現金および預貯金の推移

(単位：百万円)

区 分	年 度	2016 年度末			2017 年度末			2018 年度末		
		金 額	構成比	構成比	金 額	構成比	構成比	金 額	構成比	構成比
現 金		—			0			0		
預 貯 金		15,196			20,795			20,144		
郵便振替・郵便貯金		11			34			48		
当 座 預 金		—			—			—		
普 通 預 金		15,184			20,760			20,096		
通 知 預 金		—			—			—		
定 期 預 金		—			—			—		
外 貨 預 金		—			—			—		
合 計		15,196			20,795			20,145		

2. 運用資産および総資産の推移

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
預 貯 金		15,196	64.1	20,795	86.3	20,144	96.5
コ ー ル ロ ー ン		—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定		—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金		—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権		—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券		—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託		—	—	—	—	—	—
有 価 証 券		7,127	30.1	2,001	8.3	—	—
う ち 株 式		—	—	—	—	—	—
貸 付 金		—	—	—	—	—	—
土 地 ・ 建 物		18	0.1	16	0.1	24	0.1
運 用 資 産		22,342	94.3	22,813	94.7	20,169	96.6
総 資 産		23,696	100.0	24,100	100.0	20,878	100.0

3. 利息および配当金収入の額および運用資産利回り(インカム利回り)の推移 (単位: 百万円、%)

区 分	2016 年度末		2017 年度		2018 年度	
	収入金額	利回り	収入金額	利回り	収入金額	利回り
預 貯 金	—	—	—	—	—	—
コ ー ル ロ ー ン	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券	8	0.07	0	0.01	△ 0	△ 0.03
う ち 株 式	—	—	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—	—	—
土 地 ・ 建 物	—	—	—	—	—	—
小 計	8	0.04	0	0.00	△ 0	△ 0.00
そ の 他	—	—	—	—	—	—
合 計	8	—	0	—	△ 0	—

(注) 運用資産利回り(インカム利回り)

資産運用に係る成果をインカム収入(利息および配当金収入)の観点から示す指標です。

分子を[利息および配当金収入]、分母を[取得原価又は償却原価による平均残高]として算出しています。

4. 資産運用利回り(実現利回り) (単位: 百万円、%)

区 分	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り
預 貯 金	—	9,600	—	—	17,534	—	—	21,432	—
コ ー ル ロ ー ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券	8	12,135	0.07	0	4,773	0.01	△ 0	333	△ 0.03
公 社 債	8	12,035	0.07	0	4,715	0.01	△ 0	333	△ 0.03
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	0	100	0.00	0	58	0.00	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土 地 ・ 建 物	—	20	—	—	17	—	—	16	—
金 融 派 生 商 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	901	—	—	838	—	—	654	—
合 計	8	22,658	0.04	0	23,164	0.00	△ 0	22,436	△ 0.00

(注) 資産運用利回り(実現利回り)

資産運用に係る成果を当年度の期間損益への寄与の観点から示す指標です。

分子を[資産運用収益] + [積立保険料等運用益] - [資産運用費用]、分母を[取得原価又は償却原価による平均残高]として算出しています。

5. (参考) 時価総合利回り

(単位：百万円、%)

区 分	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り	損益の額	平均 運用額	利回り
預 貯 金	—	9,600	—	—	17,534	—	—	21,432	—
コ ー ル ロ ー ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有 価 証 券	△ 18	12,176	△ 0.16	△ 12	4,786	△ 0.26	△ 0	333	△ 0.14
公 社 債	△ 18	12,076	△ 0.16	△ 12	4,728	△ 0.26	△ 0	333	△ 0.14
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	0	100	0.00	0	58	0.00	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土 地 ・ 建 物	—	20	—	—	17	—	—	16	—
金 融 派 生 商 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	901	—	—	838	—	—	654	—
合 計	△ 18	22,699	△ 0.08	△ 12	23,177	△ 0.05	△ 0	22,437	△ 0.00

(注) 実現利回りにその他有価証券の評価差額等を加味したもので時価ベースでの運用効率を示す指標です。

分子を [資産運用収益] + [積立保険料等運用益] - [資産運用費用] + [当期末評価差額] - [前期末評価差額]、分母を [取得原価又は償却原価による平均残高] + [その他有価証券に係る前期末評価差額] + [金銭の信託および売買目的有価証券に係る前期末評価損益] で算出しています (評価差額は税効果控除前の金額による)。

6. 海外投融資残高および構成比および利回り

該当ありません。

7. 商品有価証券の平均残高及び売買高

該当ありません。

8. 保有有価証券の種類別の残高および合計に対する構成比

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	2016 年度末		2017 年度末		2018 年度末	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
国	債	7,027	98.6	2,001	100.0	—	—
地 方	債	—	—	—	—	—	—
社	債	—	—	—	—	—	—
株	式	—	—	—	—	—	—
外 国	証 券	—	—	—	—	—	—
そ の 他	の 証 券	100	1.4	—	—	—	—
合 計		7,127	100.0	2,001	100.0	—	—

9. 保有有価証券利回り

(単位：%)

区 分	年 度	2016 年度末			2017 年度末			2018 年度末		
		運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り	運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り	運用資産利回り (インカム利回り)	資産運用利回り (実現利回り)	(参考) 時価総合利回り
公 社	債	0.07	0.07	△ 0.16	0.01	0.01	△ 0.26	△ 0.03	△ 0.03	△ 0.14
株	式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国	証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	の 証 券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—	—
合 計		0.07	0.07	△ 0.16	0.01	0.01	△ 0.26	△ 0.03	△ 0.03	△ 0.14

(注) 利回りの計算方法は 3、4、5 の注記のとおりです。

10. 有価証券の種類別の残存期間別残高

(単位：百万円)

区 分	残存期間	1 年以下	1 年超 3 年以下	3 年超 5 年以下	5 年超 7 年以下	7 年超 10 年以下	10 年超	合 計
		2017 年度末	国 地 方 債	2,001	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—	—
	株 式	—	—	—	—	—	—	—
	外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—
	その他の有価証券	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	2,001	—	—	—	—	—	2,001
2018 年度末	国 地 方 債	—	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—	—
	株 式	—	—	—	—	—	—	—
	外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—
	その他の有価証券	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	—	—	—	—	—	—	—

(注) 10 年超には期間の定めのないものを含んでいます。

11. 業種別保有株式の額

該当ありません。

12. 貸付金の残存期間別の残高

該当ありません。

13. 担保別貸付金残高

該当ありません。

14. 使途別の貸付金残高および構成比

該当ありません。

15. 業種別の貸付残高および貸付残高の合計に対する割合

該当ありません。

16. 規模別の貸付金残高および貸付残高の合計に対する割合

該当ありません。

17. 有形固定資産明細表

(単位：百万円)

年 度		2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
区 分				
土 地		—	—	—
営 業 用		—	—	—
賃 貸 用		—	—	—
建 物		18	16	24
営 業 用		18	16	24
賃 貸 用		—	—	—
建 設 仮 勘 定		—	—	—
営 業 用		—	—	—
賃 貸 用		—	—	—
合 計		18	16	24
営 業 用		18	16	24
賃 貸 用		—	—	—
リ ー ス 資 産		—	—	—
その他の有形固定資産		185	171	123
有形固定資産合計		204	188	148

18. 長期性資産

該当ありません。

19. 特別勘定に関する指標

該当ありません。

責任準備金残高の内訳

(単位：百万円)

種 目	内 訳	普通責任 準備金	異常危険 準備金	払戻積立金	契約者配当 準備金	危険準備金Ⅱ	合計
2017 年度末	火 災	—	—	—	—	—	—
	傷 害	—	—	—	—	—	—
	自 動 車	6,627	480	—	—	—	7,108
	自動車損害賠償責任	366	—	—	—	—	366
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	合 計	6,994	480	—	—	—	7,475
2018 年度末	火 災	—	—	—	—	—	—
	傷 害	—	—	—	—	—	—
	自 動 車	4,027	276	—	—	—	4,304
	自動車損害賠償責任	370	—	—	—	—	370
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	合 計	4,398	276	—	—	—	4,674

期首時点支払備金（見積り額）の当期末状況（ラン・オフ・リザルト）

(単位：百万円)

会計年度	期首支払備金	前期以前発生事故に係る 当期支払保険金	前期以前発生事故に係る 当期末支払備金	当期把握 見積り差額
2014年度	4,853	2,707	2,308	△ 162
2015年度	5,913	2,303	3,291	318
2016年度	5,914	2,518	2,597	816
2017年度	5,390	2,517	2,121	752
2018年度	4,378	2,202	2,227	△ 52

(注) 1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 地震保険および自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。

3. 当期把握見積り差額 = 期首支払備金 - (前期以前発生事故に係る当期支払保険金 + 前期以前発生事故に係る当期末支払備金)

事故発生からの期間経過に伴う最終損害見積り額の推移表

●傷害

該当ありません。

●自動車

(単位：百万円)

事故発生年度	2014 年度			2015 年度			2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計 保険金 + 支払 備金	8,743			7,379			7,314			6,312			5,756		
事故発生年度末	8,743			7,379			7,314			6,312			5,756		
1 年 後	8,288	0.95	△ 455	7,027	0.95	△ 351	6,868	0.94	△ 446	6,237	0.99	△ 74			
2 年 後	8,070	0.97	△ 217	7,034	1.00	6	6,798	0.99	△ 70						
3 年 後	7,968	0.99	△ 101	7,056	1.00	21									
4 年 後	8,072	1.01	103												
最終損害見積り額	8,072			7,056			6,798			6,237			5,756		
累 計 保 険 金	7,744			6,799			6,247			5,350			3,970		
支 払 備 金	327			256			551			887			1,786		

●賠償責任

該当ありません。

(注) 1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 「比率」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した倍率を記載しています。

3. 「変動」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した額を記載しています。